

資料 3

平成 24 年度高齢者虐待防止事業内容

高齢者虐待を発生させない十分な相談体制の確保と関係者の高齢者虐待への理解等を深めること、また虐待を受けている高齢者への対応と養護者への支援対策を検討することを目的として取り組んだ。

1. 高齢者虐待の対応のための体制整備 (資料 4)

(1) 在宅高齢者虐待防止対応防止マニュアルの見直し

複雑な背景をもつ高齢者虐待対応にそれぞれの主体が役割を再確認し、適切に対応していくため平成 19 年 6 月に策定した在宅高齢者虐待防止マニュアルの改正にかかる検討を行い、新潟市高齢者虐待防止マニュアル（平成 25 年 4 月）を作成。

2. 一時保護・措置入所状況 (資料 2)

(1) 緊急保護施設の確保

高齢者虐待等で一時的に保護を要し、入所やショートの利用が困難な場合に備え、緊急時の一時避難の居室を確保している。

平成 24 年度利用 6 件。(平成 23 年度受付ケース 1 件含む。)

(2) 措置・ショーステイ

高齢者虐待等によるやむを得ない事由等により介護保険サービスを受けることができない場合に、介護老人福祉施設等に一時的に入所の措置を行い、その後の処遇を検討していく。

平成 24 年度利用 入所 5 件 (特別養護老人ホーム 5 件)

3. 養介護施設従事等による高齢者虐待対応状況 (資料 2)

平成 24 年度相談通報件数 4 件

4 件ともに事実確認の結果、虐待の事実は確認されず高齢者虐待防止の視点から養介護施設・事業所として職員研修の機会の確保や虐待防止委員会等の設置等の取り組みを実施し今後も高齢者が安心してサービスを利用できるよう指導した。

4. 職員に対する研修会（高齢者虐待防止担当職員研修）の実施状況

平成 24 年度より新潟市社会福祉協議会へ委託して実施。

【第 1 回】

日時：平成 24 年 10 月 24 日（水）

対象：各区健康福祉課担当者・各地域保健福祉センター職員・各地域包括支援センター職員 39 名

会場：新潟テルサ大会議室

講師：日本高齢者虐待防止センター 理事・事務局長 梶川 義人氏

内容：事例を通して学ぶ高齢者虐待の防止と支援 初級編（事例検討・講義）

【第2回】

日時：平成24年11月30日（金）

対象：各区健康福祉課担当者・各地域保健福祉センター職員・各地域包括支援センター職員 45名

会場：新潟テルサ大会議室

講師：日本高齢者虐待防止センター 理事・事務局長 梶川 義人氏

内容：事例を通して学ぶ高齢者虐待の防止と支援 中・上級編（事例検討・講義）